

1 教育目標と重点目標

<教育目標>

自律 躍動 協力

- 「自律」：自ら考え、判断し、主体的に行動する。
自分を甘やかさず、自分を律して、行動する。
規範意識を持ち、ルールを守る意義を理解し、規則正しい生活を送る。
- 「躍動」：生き生きと主体的に行動する。
普段からの努力を惜しまず、能力を最大限に発揮する。
粘り強く活動し、諦めない。
- 「協力」：いろいろな立場や考え方の違いを理解し、よりよい方法を探り、協力して物事に取り組む。
創造力を働かせ、高め合ってよりよいものを創り上げる。
周りのことを考えて、自ら行動し、周りに貢献する。

様々な場面で、「自己コントロール（自律）しながら、主体的に取り組み（躍動）、みんなで協働（協力）して最後までやり遂げる」姿をイメージ。そして、最後は、感謝の思いを素直に伝えられる生徒を目指す。

<本年度の重点目標>

考える 鍛える 思いやる

- 「考える」：自分で課題を見付け、自ら考え、主体的に判断し、よりよく課題解決する資質・能力を育てる。
よりよい生き方・学び方を考えさせ、自分の行動を振り返り、次に活かせるよう働き掛ける。
- 「鍛える」：自らを律し、心身ともに鍛え、成長を促す。
自分に厳しく、人に優しく、普段から向上心をもって努力する姿勢を育てる。
- 「思いやる」：認め合い、支え合い、協調・協力し合うよさを実感させる。
他人を思いやり、貢献する態度を養う。

2 学校経営の方針

<基本的な構え>

- (1) 全教育活動を通して「人間としての在り方、生き方」を伝え、現代社会をたくましく生き抜く生徒を育成する。そのために、自立（自律）を促し、自ら考え、判断し、主体的・協働的に行動することができるよう働き掛ける。
- (2) 一人一人の生徒が意欲的に教育活動に参加し、自己有用感（自尊感情）に溢れる学校生活を送れるように支援する。
- (3) 一人一人の生徒の可能性を引き出し、個性を伸ばす教育を実践する。

<教育目標の捉え>

- (1) 教育目標「自律 躍動 協力」の下、社会性を身に付け、自律を促す支援を粘り強く推進し、活気ある明るい学校生活を基盤に生徒が躍動する集団を目指す。その支えとなる他者とのかかわりを大切にし、認め合い・支え合い、互いに協力

し合う姿勢を育む。

- (2) 今の両津中生には、「自己有用感（自尊感情）」「諦めない心」「思いやりの心」の育成をキーワードとして、教育目標の具現化を図る。

3 目指す学校像

- (1) 生徒、保護者、地域から信頼され、地域とともにある学校
- (2) 互いの人格を認め、笑顔と活気に溢れる学校
- (3) 生徒一人一人が自己実現に向けてのびのび取り組む学校
- (4) 互いに支え合い、高め合う生徒を育てる学校

4 学校経営を支える体制

- (1) 職員体制
 - 信頼とチームワークの構築
 - ・ 生徒理解、人権感覚に基づいた信頼関係、協働体制づくり
 - ・ 認め合い励まし合う明るい職場づくり
 - 目標共有と資質・能力の向上
 - ・ 授業力向上の研修の実施
 - ・ 小中連携による研修、情報共有
- (2) 家庭との連携
 - 授業参観、保護者会、家庭
 - ・ 訪問の実施
 - 各種たよりの発信
- (3) 地域との連携
 - 社会性育成事業の推進
 - コミュニティ・スクールの準備、試行
- (4) 健康支援体制
 - 思春期教室の実施
 - 緊急時救急体制の周知
 - 健康面での家庭との情報共有
- (5) 安全指導體制
 - 関係機関と連携した非難訓練の実施
 - P T A 防犯パトロールの実施

5 目指す生徒像

- (1) 社会性（自己有用感、規範意識、人間関係づくり能力、他者と協力しながら問題解決を図る意欲や態度）を身に付けた生徒
- (2) 諦めないで最後までやり抜く生徒
- (3) 人を思いやることができる生徒
- (4) 自分で考え、判断し、行動できる生徒

6 目指す教師像（教師集団）

- (1) 全職員が共有・協働して、学校課題の解決に取り組む教師集団
- (2) 個々の能力と特性を生かし、チームで生徒の力を伸ばす教師集団
- (3) 常に笑顔を忘れず、互いに認め合い励まし合う明るい教師集団
- (4) 非違行為をしない、させない教師集団